

## 実用化事例

# ギフト用詰合せのパッケージデザイン

【相手先企業】

有限会社 菜香や

### 【開発の背景】

対象企業は、茨城県を中心に国内で収穫された旬の野菜を使って、保存料，合成着色料，化学調味料を使わない無添加，手作りにこだわった漬物を製造販売しています(写真1)。H22年度デザイン開発支援事業に採択され，ギフト用詰合せのパッケージデザインの開発を進め，今年度，販売が開始されました。



写真1

### 【開発の経緯・支援内容】



写真2



写真3

当センターでは，デザイン講師として有限会社グランデの奥山 学氏の協力を得ながら，対象企業のギフト用詰合せのパッケージを中心に，デザイン開発の支援を行ないました。

支援事業では，商品の差別化を図りながら，開発中の商品と既存商品を組合せた詰合せを想定して進めましたが，既存商品の詰合せが先行して発売となりました。

冷蔵品である商品のデリバリーを考慮し，化粧箱としても，また保冷用外箱としても機能する，発泡ポリスチレン材のパッケージを採用しました。

コーポレートカラーのロゴマークを大胆に配した掛け紙が，顧客や商品を受け取ったお客様に，企業の存在を印象づけます(写真2)。そして，パッケージを開けたとき，色とりどりの旬の漬物が，すっきりと美しく，美味しそうに見えるよう，検討を重ねました(写真3)。

高級感を出し，豊富な商品のラインナップの組合せを考慮して，商品名は帯紙を採用しました。

ターゲットとなる顧客像から，一回で食べられるよう商品のサイズにも配慮しています。

### 【開発した商品の紹介】

開発品は，既存商品の詰合せとして，平成23年5月より発売が開始されました。

- ・販売価格：3,150円(税込み)
- ・販売先：カタログ販売(3社)，エクセル南(茨城味撰倶楽部)，自社サイト

基礎となった事業

平成22年度 デザイン開発支援事業

現在の担当部門

産業連携室

室長 大力 賢次

TEL：029-264-2205

嘱託 大栗 淳子